



# ゆりのき

港区立赤坂中学校  
学校だよ 10月号  
平成 29年 10月 2日

## 赤坂中学校教育目標

- ・「まなび」を大切にする
- ・「いのち」を大切にする
- ・「こころ」を大切にする
- ・「とき」を大切にする



## 体験を通して学ぶ

校長 高松政則

9月15日（金）に生徒会役員選挙が行われました。立候補者全員が信任され、10月6日（金）の後期生徒総会以降、新しい生徒会が動き出します。赤坂中学校の先輩たちが築いたすばらしい伝統を引き継ぎ、よりよい学校生活を目指す生徒会を期待しています。立会演説会では、候補者全員が自分の想いや決意をしっかりと語り真剣な姿勢で生徒会役員選挙に臨んでくれました。また当日は、港区明るい選挙推進協議会の赤坂地区代表の皆さんにも立会人としてご協力をいただき、投票記載台や投票箱を利用した実際の選挙さながらの投票といった体験もしました。生徒たちの力でさらに赤坂中学校を発展させてくれることを願っています。

さて、先日子どもたちの体験活動に関する記事を見つけました。幼児期から義務教育修了までの各年齢期における多様な体験とそれを通じて得られる資質・能力の関係性について、どの年齢期にどういった体験が重要になるかを調査・研究したものです。子どもの頃の体験（自然体験、動植物とのかかわり、友だちとの遊び、地域活動、家族行事、手伝い）と体験の力（自尊感情、共生感、意欲・関心、規範意識、人間関係力、職業意識、教養）の関係性については次のような結果が示されていました。

子どもの頃の「自然体験」や「友だちとの遊び」「地域活動」等の体験が豊富な人ほど「経験したことのないことには何でもチャレンジしてみたい」といった「意欲・関心」が高い。また、「電車やバスでお年寄りや体の不自由な人に席を譲ろうと思う」といった「規範意識」、「友だちに相談されることがよくある」といった「人間関係能力」が高い。さらに、「動植物とのかかわり」「地域活動」「手伝い」等の体験が豊富な人ほど「思いやり」「やる気」「人間関係能力」等の資質・能力が高いという傾向がみられるようです。体験活動とは、自分の身体を通して実際に経験する活動であり、対象となる実物に働きかけ、直接かかわっていく活動です。インターネット等を介して感覚的に学ぶ「間接体験」、シュミレーション等を通じて擬似的に学ぶ「疑似体験」等が多くなってきた現在ですが、重要なのは、やはり、ヒトやモノ、社会に実際に触れかかわりあう「直接体験」が必要です。子どもたちは具体的な事物とのかかわりを通して、感動したり、驚いたり、なぜだろうと考える中で社会や自然の在り方を学びます。またそこから、得た知識や考え方を基に様々な課題に取り組み、自らを高め、よりよい生活を創り出していくのではないのでしょうか。

2学期に入ってからは、2年生の職場体験、有志による氷川祭（地域行事）への参加、生徒会選挙を通じた選挙体験など、生徒たちは様々な直接体験を経験してきています。この経験が、生徒たちの将来によりよい体験活動として生かされることを願っています。

10月15日（日）には中之町幼稚園の運動会が本校の校庭で行われる予定です。ボランティアとしての中学生の参加もお願いされています。運営に関わる体験を通して、園児とのかかわりの中から思いやりの心を育むことができるといいなと思っています。積極的なボランティアの参加を期待しています。

## 10月行事予定

- |                                |                         |
|--------------------------------|-------------------------|
| 2日(月) 朝礼、専門委員会                 | 13日(金) 避難訓練、学校公開週間終     |
| 4日(水) 区連合体育大会（2年）<br>進路説明会（3年） | 14日(土) 土曜授業日、道徳授業地区公開講座 |
| 6日(金) 生徒総会、英語検定                | 16日(月) 全校朝礼             |
| 10日(火) 学校公開週間始、音楽交歓会（1年）       | 20日(金) 漢字検定             |
| 12日(木) 社会科授業「模擬裁判」（3年）         | 28日(土) 学芸発表会            |
|                                | 30日(月) 振替休業日            |

## 10月の生活目標 「自分の役割に責任をもとう」

- 行事や学年・学級での役割に責任をもとう。
- 身だしなみを整えよう。



左は、赤坂中学校創立70周年のシンボルマークです。先日、記念誌用に全校生徒集合写真を撮影しました。このシンボルマークが入った集合写真を、校内に掲示してあります。ご来校の際には、是非ご覧ください。

### 活躍する赤中生！

#### 【明るい街づくり運動・標語コンクール入選】

- もうダメだ そう思わずに もう一度 (今井 悠介<1年>)
- スマホより 目を見て会話 つながる心 (松本 あきほ<2年>)
- 毎日の 細かいことに ありがとう (中川 淳太郎<3年>)

#### 【防災標語コンクール優秀作品】

- 大地震 津波が来るぞ さあ逃げろ (中原 雅彦<1年>)

#### 【明るい選挙啓発ポスターコンクール】 ○入選：板垣 侖奈<2年>

### 生徒会役員選挙(9/15)

立会演説会、投票が行われました。当日は、港区選挙管理委員会の方に選挙立会人としてご協力いただきました。また、投票箱と記載台も区で実際に使用しているものをお借りして使用しました。

信任された生徒会役員  
(会長) 松本あきほ  
(副会長) 三宅 可凜  
(本部役員) 川島 楓子  
山尾 陽修



### 【特別支援教室の通級の申込みについて】

平成30年4月から、通常学級に在籍する生徒のうち学習に概ね参加でき、一部特別な指導を必要とする生徒を対象に、本校において通級指導を行う特別支援教室を開室します。特別支援教室とは、巡回指導教員が生徒の在籍校を巡回し、コミュニケーションや学習面で課題や心配がある生徒を対象に指導を行う教室です。

特別支援教室への通級を希望される保護者の方は、11月2日(木)までに副校長に連絡してください。

